

.

高崎市の市街地から、果樹園の多い榛名（はるな）を通り、里見（さとみ）、室田（むろた）、権田（ごんだ）、倉渕（くらぶち）、川浦（かわうら）などの高崎市郊外の集落を抜けると、いよいよ二度上峠（にどあげとうげ）にさしかかります。この道は群馬県道 54 号線で、軽井沢市街地を通らずに、高崎から北軽井沢に抜けられる道です。5 月の連休や夏休みでも決して渋滞しないので、私は日常的に利用しています。

峠道はカーブが 71 か所もあり、「いろは+ABC 坂」といった感じです。信号も民家も商店も一つもなく、そういう意味では自然の中の一本道です。私は「峠の動物街道」と呼んでいます。今までにこの峠道で見かけた野生動物（哺乳類）は、ニホンシカ、キツネ、タヌキ、テン、アナグマ、アライグマ、タヌキ、カモシカ、ツキノワグマ（子グマのみ）、それにニホンザルです。

先日もヒノキの枝で休む、ニホンザルを見かけました。車で近づいても意外とじっとしています。もちろん車からは降りず、餌も与えませんでした。まだ冬毛のようで、少し暑苦しそうに見えました。

（2025 年 5 月上旬／高崎市倉渕町川浦）

